



THE LANGUAGE OF GROWTH

ITIL (Version 5) Candidate FAQ

ITIL (Version 5) – 受験者向け FAQ

目次

WHAT'S CHANGING IN ITIL	3
GETTING STARTED WITH NEW ITIL	5
UNDERSTANDING THE OFFICIAL QUALIFICATION SCHEME.....	6
EXAMS, LEARNING OPTIONS, AND CERTIFICATION INFORMATION	9
MOVING TO NEW ITIL: YOUR TRANSITION OPTIONS	13

WHAT'S CHANGING IN ITIL

Q1. ITIL の新しいポイントは?

A: ITIL (Version 5) は、プロダクト・サービスに関わるすべての人にとって、より実践的で、柔軟性が高く、現場で使いやすいフレームワークへと進化しました。役割・チーム・組織の規模を問わず、価値の共創を支援する設計になっています。

主な進化ポイント：

モダンで統合された包括的アプローチ

ITIL (Version 5) は、経営・戦略から日々の運用まで、組織全体にわたって機能するガイダンスを提供します。リーダーシップや戦略から日々の運用に至るまでをカバーし、チームが協働し、優先事項を整合させ、安定した環境および変化の激しい環境の双方において一貫して価値の共創できるよう支援します。

AI ネイティブかつ複雑性に対応

ITIL (Version 5) は、テクノロジー、ビジネスニーズ、顧客期待が進化する中で、適応し、情報に基づいた意思決定を行い、変化を管理する方法についての実践的なガイダンスを提供することで、専門家が複雑で AI に対応した環境において効果的に業務を遂行できるよう支援します。

プロダクトとサービスの統合管理

従来の「サービス」中心ではなく、デジタルプロダクトとサービスを統合したエンドツーエンドのライフサイクルマネジメントを支援します。

デジタルエクスペリエンス重視

ITIL (Version 5) では、デジタルエクスペリエンスが中核的な焦点となっており、専門家がより高い可視性、より良いコラボレーション、そして異なるステークホルダーがどのように価値を体験するかについての明確な理解をもって、デジタルプロダクトとサービスの設計、提供、改善を行えるよう支援します。

これまでの ITIL との継続性

ITIL (Version 5) は、ITIL 4 およびそれ以前のバージョンからの実証された概念およびモデル（バリューシステムや指導原則を含む）、プラクティスを取り入れています。

Q2. なぜ今、ITIL は進化したのですか?

A: デジタル環境が大きく変化したため、新しいバージョンが必要とされました。現在の組織は、AI によって働き方そのものが変革される中で、より速く、より賢く、より柔軟に行動することが求められています。

こうした現実に対応するため、ITIL は新たなガイダンスを補筆して、組織の体制にあわせて構成を再編成しています：

デジタル・プロダクト中心の企業には、新しいガイダンスが必要です。

従来の ITIL は主に IT「サービス」に焦点を当てていましたが、現代の組織では、プロダクトとサービスを統合的に管理・提供しています。

AI と自動化は、業務運営のあり方を大きく変えています。

New ITIL は、AI を前提としたアプローチを提供することで、組織と個人が自信を持って変化に適応し、イノベーションを推進できるよう支援します。

ビジネスには、俊敏性と急速な変化を支えるモデルが必要です。

New ITIL は、現実のニーズに即した、適応型かつ成果重視のプラクティスを実現するよう進化しています。

組織は、測定可能な価値を継続的に示していく必要があります。

新しいフレームワークは、人とプラクティスとテクノロジーのつながりを強化し、持続可能なビジネス成果の創出を支援します。

組織は、アジリティと品質と ROI いう次元で透明性とアカウンタビリティを確保する必要があります。

DevOps や Agile やスクラムといった手法は、アジリティを提供しますが、品質とガバナンスという点において踊り場にいる企業には、オペレーティングモデルと基盤知識を提供します。

New ITIL は、AI を前提とした変化の激しい時代に対応するために進化しました。あらゆる役割・あらゆる組織において、デジタルプロダクトとサービスの提供および継続的な改善を支援する、実践的なガイダンスを提供します。

Q3. なぜ「Version」を番号の前に戻したのですか？ (ITIL v3 → ITIL 4 → ITIL (Version 5))

A: トレーニングおよび認定資格において、ITIL の進化を明確に伝えるため、「ITIL (Version 5)」という表記を採用しています。各バージョンは、これまでの実績あるガイダンスを土台としながら、デジタルプロダクトとサービス、そして組織のあり方の変化に対応した意味のある進化を示しています。これは、ITIL がリセットや置き換えではなく、専門領域の進化とともに継続的に発展していることを示すものです。

Q4. ITIL (Version 5) は誰を対象としていますか？ (ファンデーション以外)

A: ITIL (Version 5) は、デジタルプロダクトとサービスの設計、提供、運用、改善に関わる実務者と役職者とコンサルタントを対象としています。複雑で現実的な業務環境の中で、ITIL の考え方を実践的に活用したい方に向けた内容です。

以下の領域で働く実務者を想定しています：

- プロダクト／サービスマネジメント
- IT およびデジタルデリバリー
- エクスペリエンス、オペレーション、改善
- 戦略、変革、リーダーシップ

ITIL (Version 5) は、従来の IT 部門の枠を超え、テクノロジー、プロダクト、サービス、体験の各機能が連携して価値を生み出す現代のビジネス環境を前提としています。現場の実務者から変革を主導するリーダー層まで、さまざまなキャリア段階の方の価値共創と創造性の熟成に適しています。また、あらゆる規模のデジタルおよび AI を活用する組織を対象としています。

GETTING STARTED WITH NEW ITIL

Q5. ITIL ファンデーション (Version 5) とは何ですか？対象者は？

A: ITIL ファンデーション (Version 5) は、ITIL (Version 5) の基礎となる要素を提供し、ITIL の学習ジャーニーの最初のステップです。

本資格は ITIL の入門として設計されており、受講者が AI 時代におけるデジタル対応のプロダクトおよびサービスの創出、提供、継続的改善のための完全なライフサイクルモデルを通じて、デジタルプロダクトおよびサービスマネジメントを捉えることを可能にします。

ITIL ファンデーション (Version 5) は、ITIL の学習をこれから開始する組織および専門家で、デジタルプロダクトおよびサービスを通じて価値創出を目指す方に適しています。

Q6. ITIL ファンデーションの後に、ITIL Transformation を受講できますか？

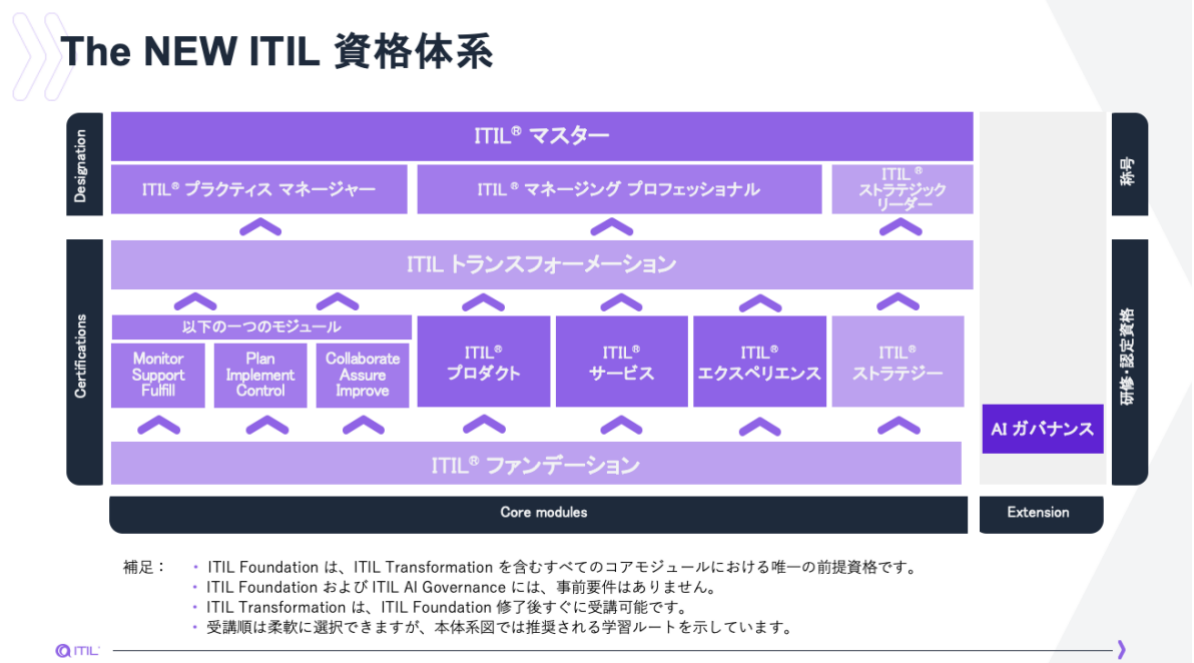
A: はい、可能です。ITIL (Version 5) の各モジュールには、特定の受講順は定められていません。ITIL ファンデーション修了後は、ご自身の役割や関心、キャリア目標に応じて ITIL Transformation を受講することができます。

UNDERSTANDING THE OFFICIAL QUALIFICATION SCHEME

Q7. ITIL (Version 5) では、どのような資格がありますか？

A: ITIL (Version 5) の資格体系は、ITIL ファンデーション からスタートし、上位モジュール 8 種および拡張モジュール 1 種で構成されています。

以下の図は、ITIL (Version 5) の資格体系の全体像を示したもので、各資格・称号がどのように構成されているか、また、受講者がどのようにステップアップしていくかを視覚的に示しています。



ITIL Master : ITIL Practice Manager + ITIL Managing Professional + ITIL Strategic Leader

ITIL Practice Manager : ITIL Foundation + ITIL MSF or CAI or PIC + ITIL Transformation

ITIL Managing Professional : ITIL Foundation + ITIL Product + ITIL Service + ITIL Experience + ITIL Transformation

ITIL Strategic Leader : ITIL Foundation + ITIL Strategy + ITIL Transformation

補足：

- ITIL ファンデーション は、ITIL Transformation を含むすべてのコアモジュールにおける唯一の前提資格です。
- ITIL ファンデーション および ITIL AI Governance には、前提条件はありません。
- ITIL Transformation は、ITIL ファンデーション 修了後すぐに受講可能です。
- 受講順は柔軟に選択できますが、本体系図では推奨される学習ルートを示しています。

上位モジュールは、以下の 3 つのストリーム（系統）に分類されています：

1. ITIL Practice Manager (ITIL PM)
2. ITIL Managing Professional (ITIL MP)

3. ITIL Strategic Leader (ITIL SL)

各ストリームで定められたモジュールをすべて修了することで、それぞれの称号が付与されます。

3つすべての称号を取得すると、最高位の称号である「ITIL Master」が付与されます。ITIL (Version 5) では、合計4つの称号が用意されており、それぞれがプロダクトおよびサービスマネジメントの包括的な専門性の習得につながる構成になっています。

ITIL Practice Manager (ITIL PM) になるには、まず ITIL ファンデーション を修了し、以下の専門モジュールのいずれか1つを選択して受講します。各モジュールには、複数のプラクティスが含まれています。

- Monitor, Support and Fulfil (MSF)
サービスデスク、インシデント管理、問題管理、サービス要求管理、モニタリングおよびイベント管理
- Plan, Implement and Control (PIC)
変更実現、展開管理、リリース管理、サービス構成管理、IT 資産管理
- Collaborate, Assure and Improve (CAI)
リレーションシップ管理、サプライヤ管理、サービスレベル管理、継続的改善、情報セキュリティ管理

ITIL Practice Manager (Version 5) の称号を取得するには、上記の専門モジュール1つに加え、ITIL Transformation コースを修了し、対応する試験に合格する必要があります。

ITIL Managing Professional (ITIL MP) の称号は、ITIL ファンデーションに加え、以下のモジュールの修了が必要です：Product、Service、Experience、Transformation

ITIL Strategic Leader (ITIL SL) の称号は、ITIL ファンデーションに加え、以下のモジュールの修了が必要です：Strategy、Transformation

ITIL Transformation は、ITIL (Version 5) のすべての称号に共通する中核モジュールです。1度修了すれば、すべての称号に共通してカウントされます。

AI Governance は拡張モジュールとして位置づけられており、サービスマネジメントにおけるAIの責任ある活用の重要性を反映した内容です。

ITIL Master の称号は、複雑な実務環境においてITILを適切に適用できる高度な専門性と実践力を有していることを示すものです。

Q8. ITIL (Version 5) に拡張モジュールはありますか？

A: ITIL (Version 5) の資格体系における拡張モジュールは、「AI Governance」のみです。AIを責任ある形で、かつ倫理的・組織方針および法規制に沿って活用するためのフレームワーク、ポリシー、統制を扱います。

ITIL AI Governance には前提条件はありません。本モジュールは、組織全体における AI 活用のガバナンスを強化したいと考える、幅広い層に向けた実践的なガイダンスを提供するように設計されています。AI はあらゆる業界で活用されており、業務のオペレーション、戦術、戦略の各レベルに影響を与えるため、すべての役割に関係するテーマです。

なお、ITIL 4 のエクステンションモジュールは、ITIL (Version 5) の認定体系には含まれていません。これらの内容は、ITIL 全体のガイダンスの中に統合され、今後の学習コンテンツに反映される予定であり、フレームワークの進化を示しています。

Q9. ITIL Transformation (Version 5) は共通モジュールとのことですが、どういう意味ですか？また、複数回受講する必要はありますか？

A: ITIL Transformation (Version 5) は、ITIL Practice Manager、ITIL Managing Professional、ITIL Strategic Leader のすべてに共通する中核モジュールです。受講は 1 回でよく、複数回受講する必要はありません。

Q10. ITIL (Version 5) の Practice Manager 称号を取得するには、すべての Practice Manager モジュールと Transformation モジュールに合格する必要がありますか？

A: いいえ、Practice Manager の専門モジュールは 3 つのうちいずれか 1 つを選んで合格すれば問題ありません。加えて、Transformation モジュールに合格することで、ITIL (Version 5) Practice Manager の称号が付与されます。

Q11. ITIL (Version 5) の資格体系には、1 日完結の個別 Practice コースは含まれますか？

A: いいえ、ITIL (Version 5) の資格体系に含まれるのは、3 つのバンドル形式の Practice モジュールのみです。

EXAMS, LEARNING OPTIONS, AND CERTIFICATION INFORMATION

Q12. ITIL ファンデーション Bridge (Version 5) モジュールとは何ですか？

A: ITIL ファンデーション Bridge (Version 5) モジュールは、ファンデーションレベルの知識を ITIL (Version 5) へ迅速かつ低コストで更新するための手段です。本モジュールは、ITIL 4 ファンデーション (または ITIL 4 のいずれかの資格 (Cloud および Sustainability を除く)) を保有し、上位レベルのモジュールへ進むことなく、更新された認定資格を必要とする専門家を対象としています。

この 1 日間の Bridge コースにはアセスメントが含まれており、修了することで ITIL ファンデーション (Version 5) の認定およびデジタルバッジが付与されます。本モジュールは任意の選択肢であり、ITIL 4 の資格は引き続き ITIL (Version 5) の上位レベルに進むための有効な前提条件として認められています。

Q13. ITIL Managing Professional Transition (Version 5) モジュールとはなんですか？

A: ITIL Managing Professional Transition (Version 5) モジュールは、既存の ITIL 資格保有者が ITIL (Version 5) へ移行するためのアップグレードルートです。本モジュールは、ITIL v3 Expert、ITIL v3 Master、ITIL 4 Managing Professional、または ITIL 4 Master の資格をお持ちの方を対象としており、既存の資格を短期間でアップグレードできるよう設計されています。

本コースは 5 日間の集中講座として提供され、ITIL Product、ITIL Service、ITIL Experience、ITIL Transformation に関する基本モデルの変更点や新しいコンテンツを網羅しています。また、新しい ITIL (Version 5) の内容に焦点を当てた移行試験 (トランジション試験) も含まれています。

Q14. ITIL 4 Leader: Digital and IT Strategy の資格を保有していますが、ITIL Strategy Leader (Version 5) の認定を取得するための最適な方法は何ですか？

A: ITIL 4 Digital and IT Strategy の資格保有者には、ITIL Strategy (Version 5) および ITIL Transformation (Version 5) のモジュールを受講することが推奨されており、これにより ITIL Strategy Leader (Version 5) の認定を取得することができます。

Q15. ITIL 4 Strategist: Direct, Plan and Improve の資格を保有していますが、ITIL Strategy Leader (Version 5) の認定を取得するための最適な方法は何ですか？

A: ITIL 4 Direct, Plan and Improve の資格保有者には、ITIL Strategy (Version 5) および ITIL Transformation (Version 5) のモジュールを受講することが推奨されており、これにより ITIL Strategy Leader (Version 5) の認定を取得することができます。

Q16. 「AI-native」とは何を意味しますか？

A: ITIL (Version 5) において「AI-native」とは、フレームワーク全体が人工知能によって有効化され、強化されるよう設計されていることを意味します。役割、活動、プロセス、プラ

クティス、バリューチェーンを含むすべての中核要素は、AI の機能によって拡張できるように構成されています。これにより、組織は自動化、予測的インサイト、インテリジェントな意思決定支援、適応的最適化を活用することで、より迅速かつ賢く、効率的に運営できるようになります。

最も重要な点として、この AI の有効化は、新しい ITIL の出版物の中にテクノロジー非依存の形で組み込まれています。このガイダンスは特定のツールやベンダーに依存するものではなく、プロダクトおよびサービスマネジメントの構造が、現在および将来の AI 技術と本質的に統合できる状態であることを保証します。

同時に、ITIL (Version 5) は単に組織が AI を利用できるようにするだけではありません。AI を責任持って統制し、方向付けるためのガイダンスも提供します。AI ガバナンスおよび戦略に関する専用の指針を通じて、ITIL (Version 5) は、プロダクトおよびサービスマネジメントにおける AI の効率的で、公平かつ安全で、価値志向の活用のための基盤を確立します。さらに、組織が AI の取り組みをビジネス目標、倫理原則、リスク管理、および規制要件と整合させることを支援します。

Q17. ITIL のマネジメントプラクティスにはどのような変更がありますか？

A: ITIL (Version 5) においては、34 の ITIL マネジメントプラクティスは概ね従来どおり維持されますが、新しい ITIL の内容との整合性を確保するために一部調整が行われています。

現在、34 の ITIL マネジメントプラクティスは以下の 2 つのグループに分類されています：

1. プロダクトおよびサービスマネジメントプラクティス
2. 一般のマネジメントプラクティス

Q18. ITIL (Version 5) の受験にあたり、トレーニング受講は必須ですか？ それとも独学でも可能ですか？

A: ITIL ファンデーション (Version 5) と Bridge についてはトレーニング受講を必須としていません。そのため、独学での学習と受験も可能です。ただし、新しい内容を十分に理解するために、認定トレーニングコースの受講、または今後提供予定の公式 e ラーニングの利用を推奨しています。

なお、ファンデーション以外のすべてのモジュールについては、ITIL 4 と同様に、認定トレーニングまたは公式 e ラーニングの受講が必須となります。

Q19. ITIL (Version 5) の試験形式はどのようになりますか？

A: ITIL ファンデーション (Version 5) は、引き続きクローズドブック (資料参照不可) の多肢選択式試験となります。ITIL AI Governance も、クローズドブック形式で実施される予定です。

ITIL Product、Service、Experience、Strategy、Transformation の各資格は、オープンブック (資料参照可) 形式の試験が予定されています。これは、暗記ではなく、理解・実践・意思決定への活用に重点を置くための設計で、試験自体の難易度に変化はありません。

Practice Manager の 3 つのバンドルモジュール (Version 5) についても、オープンブック形式の試験が現在予定されています。最終的な試験形式は、各モジュールのリリース時に確定・案内されます。

Q20. ITIL のプラクティスはどこで確認できますか？どのように提供されますか？

A: ITIL の全 34 プラクティスは、PeopleCert Plus メンバーシップを通じてのみ提供されます。また、Practice Manager モジュールに含まれる 15 のプラクティスについては、対応するトレーニングコースの教材としても提供されます。

Q21. ITIL (Version 5) は、どの言語で提供されますか？ローカライズの予定は？

A: ITIL (Version 5) は現在、英語で提供されています。ITIL ファンデーション (Version 5) は、2026 年 4 月 23 日にはスペイン語、ブラジルポルトガル語、中国語での提供開始が予定され、その後に、日本語版の提供が予定されています。

すべての ITIL (Version 5) のモジュールは、日本語版がリリースされる予定で、公式ガイド (電子書籍／印刷書籍)、公式トレーニング教材、サンプル試験、認定試験、シラバスも日本語版が日本語版試験開始と同時に、受講者／受験者に提供されます。

また、今後のローカライズ版のリリーススケジュールについては、確定次第、順次、認定パートナーまたは当社 Peoplecert.jp ウェブサイトで共有いたします。

Q22. ITIL (Version 5) の資格は更新が必要ですか？

A: はい。ITIL (Version 5) の資格は、有効期限 3 年の更新制となります。すでに ITIL 4 の資格を保有している場合、ITIL (Version 5) のいずれかの資格に合格することで、ITIL 4 の資格もあわせて更新されます。(すべての ITIL 資格は同一のプロダクトスイートに属しています)

ITIL (Version 5) の更新方法は、ITIL 4、PRINCE2、DevOps Institute と同様です。以下のいずれかの方法で更新が可能です：

- PeopleCert Plus メンバーとなり、継続的専門能力開発 (CPD) プログラムに参加する (3 年間連続で、年間 20CPD ポイントを日常の業務活動などから取得)
- 同一プロダクトスイート内の別資格を取得する (ITIL (Version 5) の場合、すべての ITIL 資格が対象)
- 同じ資格試験を再受験する

Q23. ITIL 4 モジュールはいつ終了しますか？

A: 現時点の計画では、すべての ITIL 4 モジュールは 2027 年 12 月 31 日に終了する予定です。ITIL 4 の試験バウチャーの有効期限については、追って発表されます。

Q24. ITIL ファンデーション Bridge (Version 5) モジュールはいつ終了しますか？

A: ITIL ファンデーション Bridge (Version 5) モジュールの最終終了日は、2027年12月31日に設定されています。

Q25. ITIL (Version 5) の日本語版はいつリリースされますか？

A: ITIL ファンデーション (Version 5) と ITIL ファンデーション Bridge (Version 5) モジュールは、2026年5月にリリースされましたが、認定パートナーでの研修は9月までに揃います。

また、研修コースまたは試験バウチャーを購入すると、以下が含まれます。

- オンライン試験 (試験監督付)
- 公式ガイド電子書籍
- 公式研修教材 (プロメトリック社のバウチャーには付属いたしません)
- 認定管理 WEB サービスへのアクセス
- 電子認定証の発行
- デジタルバッジ

その他の上位認定資格の日本語版は、今年夏から来年初めにリリース予定です。

MOVING TO NEW ITIL: YOUR TRANSITION OPTIONS

Q26. ITIL 4 ファンデーションを保有しています。ITIL (Version 5) へはどのように移行すればよいですか？

A: ITIL 4 ファンデーションの資格を保有している場合、上位レベルの ITIL (Version 5) モジュールへ進むためにファンデーションを再受験する必要はありません。ITIL (Version 5) は「刷新」ではなく「進化」であり、ITIL 4 の資格は、ITIL (Version 5) の上位資格に進むための前提条件として正式に認められています。

知識を手早くアップデートしたい場合は、ITIL ファンデーション (Version 5) ブリッジの受講も可能です。この 1 日コースでは、ファンデーションレベルで導入された主な変更点を中心に学び、短時間の試験が含まれます。合格すると、ITIL ファンデーション (Version 5) の認定が付与されます。

Q27. ITIL (Version 5) Managing Professional トランジションモジュールは、いつ終了予定ですか？

A: 現時点では、ITIL Managing Professional (Version 5) トランジションモジュールの提供終了や利用制限の予定はありません。学習者は、ITIL (Version 5) の学習ルートの一環として、引き続きトランジションルートを利用できます。

Q28. ITIL 4 の資格を 1 つだけ保有しています (称号なし)。ITIL (Version 5) への最適な進み方は？

A: ITIL 4 の資格を 1 つでも保有していれば、ITIL (Version 5) へ進むための十分なスタート地点に立っています。ITIL 4 の資格は、ITIL (Version 5) の上位資格に進むための前提条件として認められています。

今後の進み方としては、ご自身のキャリア目標や目指す役割に合った ITIL (Version 5) の学習ルートを選択するのが最適です。ITIL 4 で培った知識や経験は無駄にならず、ITIL (Version 5) の学習をスムーズにし、従来のベストプラクティスと最新のガイダンスを結びつけて理解する助けとなります。

Q29. ITIL v3 ファンデーションの資格を保有しています。ITIL (Version 5) へはどのように移行すればよいですか？

A: ITIL v3 ファンデーションの資格は、ITIL (Version 5) の上位資格に進むための前提条件としては認められていません。

ITIL v3 ファンデーションを保有している方に推奨されるルートは、ITIL ファンデーション (Version 5) を受講・受験し、合格することです。ITIL v3 と比較すると、ITIL ファンデーション (Version 5) には、現代のデジタルプロダクトとサービス、組織のあり方を反映した多くの新規・更新コンテンツが含まれています。

ITIL ファンデーション (Version 5) を修了することで、最新の概念に基づく、実践的で最新の基礎知識を身につけることができ、変化の激しい現代のビジネス環境においても、自信を持って ITIL のガイダンスを活用できるようになります。

Q30. ITIL v3 Master の称号を保有しています。ITIL (Version 5) へはどのように移行すればよいですか？

A: ITIL v3 Master の称号を保有している場合、ITIL Managing Professional トランジション (Version 5) モジュールへ直接進むことができます。

本トランジションモジュールは、ITIL (Version 5) の基礎概念を整理した上で、Experience、Product、Service、Transformation の各領域における主要なガイダンスを体系的に学べる構成となっています。

これにより、経験豊富な ITIL プロフェッショナルは、これまでの専門性を活かしつつ、現代のデジタル/AI 活用環境に対応した ITIL の進化を明確に理解することができます。

Q31. ITIL v3 Intermediate 資格を保有しています。ITIL (Version 5) への移行ルートはどうなりますか？

A: ITIL v3 Intermediate 資格 (Service Strategy など) は、ITIL (Version 5) の前提資格としては認められていません。

ITIL v3 Intermediate 資格を 1 つ以上保有している場合、推奨されるスタート地点は ITIL ファンデーション (Version 5) です。ITIL v3 と比較すると、ITIL ファンデーション (Version 5) には、現代のデジタルプロダクトとサービス・組織運営を反映した多くの新規・更新コンテンツが含まれています。

ITIL ファンデーション (Version 5) を修了することで、最新の基礎知識を身につけることができ、変化の激しい現代のビジネス環境において ITIL (Version 5) を効果的に活用するための確かな土台を築くことができます。

Q32. ITIL v3 Expert の称号を保有しています。ITIL (Version 5) へはどのように移行すればよいですか？

A: ITIL v3 Expert の称号を保有している場合も、ITIL Managing Professional トランジション (Version 5) モジュールへ直接進むことができます。

本トランジションモジュールでは、ITIL (Version 5) の基礎概念を整理した上で、ITIL Experience、ITIL Product、ITIL Service、ITIL Transformation の主要な内容を体系的に学びます。

これにより、経験豊富な ITIL プロフェッショナルは、これまでの知識を活かしつつ、現代のデジタル/AI 活用環境に対応した ITIL の進化を明確に理解することができます。

ITIL 4 Managing Professional の称号まで、あと 1 資格で到達できます。最適な進み方は？

A: ITIL の学習が順調に進んでいる素晴らしい状況です。ITIL 4 Managing Professional の称号取得目前であれば、まずは ITIL 4 の残りの 1 モジュールを修了し、称号の取得を完了することを推奨します。

ITIL 4 Managing Professional を取得後、ITIL Managing Professional (Version 5) トランジションモジュールを受講することで、ITIL (Version 5) ヘスムーズに移行できます。

この進め方により、これまでの学習成果を活かしながら、新しい ITIL 資格体系へ無理なく移行できます。なお、移行期間中は、ITIL 4 と ITIL (Version 5) が一定期間並行して提供され、個人・組織のスムーズな移行を支援します。

Q33. ITIL 4 Managing Professional の称号を保有しています。ITIL (Version 5) へどのように移行すればよいですか？

A: ITIL 4 Managing Professional の称号を保有している場合、ITIL Managing Professional (Version 5) トランジションモジュールへ直接進むことができます。

このトランジションモジュールでは、ITIL (Version 5) の基礎概念を整理した上で、ITIL Experience、ITIL Product、ITIL Service、ITIL Transformation の主要な内容を体系的に学びます。

本モジュールは現在、最終検証段階にあり、詳細は確定次第、順次案内される予定です。

Q34. ITIL 4 Master の称号を保有しています。ITIL (Version 5) へどのように移行すればよいですか？

A: ITIL 4 Master の称号を保有している場合も、ITIL Managing Professional (Version 5) トランジションモジュールを受講することで、称号をアップグレードすることが可能です。

このトランジションモジュールでは、ITIL (Version 5) の基礎概念を整理した上で、ITIL Experience、ITIL Product、ITIL Service、ITIL Transformation の主要なガイダンスを体系的に学びます。これにより、高度な専門性を持つプロフェッショナルも、これまでの知識を活かしつつ、ITIL の進化を明確に理解することができます。

ITIL Managing Professional (Version 5) トランジションモジュールを修了すると、以下の称号もアップグレードされます：ITIL 4 Managing Professional、ITIL 4 Practice、ITIL 4 Manager、ITIL 4 Strategic Leader

本モジュールは現在、最終検証段階にあり、詳細は確定次第、順次案内されます。

Q35. ITIL 4 Strategic Leader の称号を保有しています。ITIL (Version 5) へはどのように移行すればよいですか？

A: ITIL 4 Strategic Leader の称号を保有している場合、ITIL Transformation (Version 5) モジュールを修了することで、ITIL Strategic Leader (Version 5) へアップグレードできます。

ITIL Transformation (Version 5) は、すべての称号に共通する中核モジュールであり、ITIL 4 Practice Manager の称号も ITIL Practice Manager (Version 5) へアップグレードされます。

さらに、ITIL 4 Managing Professional の称号も保有しており、ITIL Managing Professional (Version 5) トランジションモジュールを修了した場合、Strategic Leader の称号も自動的にアップグレードされます。(Managing Professional トランジションモジュールに、アップグレードに必要な ITIL Transformation の主要内容が含まれているためです)

Q36. ITIL 4 Practice Manager の称号を保有しています。ITIL Practice Manager (Version 5) へはどのように移行すればよいですか？

A: ITIL 4 Practice Manager の称号を保有している場合、ITIL Transformation (Version 5) モジュールを修了することで、ITIL Practice Manager (Version 5) へアップグレードできます。

ITIL Transformation (Version 5) は、すべての称号に共通する中核モジュールであり、ITIL 4 Strategic Leader の称号も ITIL Strategic Leader (Version 5) へアップグレードされます。

さらに、ITIL 4 Managing Professional の称号も保有しており、ITIL Managing Professional (Version 5) トランジションモジュールを修了した場合、Practice Manager の称号も自動的にアップグレードされます。(Managing Professional トランジションモジュールに、アップグレードに必要な ITIL Transformation の主要内容が含まれているためです)